

## 目標達成計画

作成日：平成25年4月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	計画サービス内容ごとに短期長期に分け目標が立てられているが、今後介護の継続性を考慮し、計画、実施、評価、そして再計画と流れが見える管理の工夫をしていく。	計画プランを簡潔で分かりやすいものにする。	職員との話し合いを持ちながら、使い易い方法を検討する。ケアマネ間でも話し合い、情報交換をしていく。参考物件など検索してみる。	12ヶ月
2	33	今後重度化する利用が増える事を考慮して、看取りに関する対応指針等を明らかにしていく。	人生の最期までその人の尊厳を尊重し、日常生活の中で最善を尽くす。本人家族様の意志統一を図っていく。	主治医より疾患に対しての情報収集や看取りに関するアドバイスを頂く。職員研修により質の向上を図り、緊急時の対応が十分に出来るよう配慮していく。家族との連携を常に取っていく事で、家族様の思いを受け入れた支援に繋げていく。	12ヶ月
3	35	地域との協力関係を深めるために地域の災害時には地域の避難拠点としての利用等、双方向的な協力体制作りをしていく。	近隣の社会福祉施設、地域の商店街、自治会等との連携が取れ、いざという時の体制が得られるようにする。	災害時の連絡方法、避難場所、避難経路等を運営推進会議時確認していく。運営推進会議には、消防署等の協力を得ながら、施設、地域、各施設等の役割や方法のアドバイスや訓練を行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月